

## 宝の海を未来に届けたい

～ 婚活と漁業体験による地域活性化と担い手対策 ～

新松浦漁協青年部新星鹿支部

荒木大輔

### 1. 地域の概要

私の活動拠点である松浦市星鹿町は、長崎県の北部に位置し、伊万里湾に面している（図1）。水産業や農業が盛んで、地域の漁業や農業、伝統料理を体験できる農林漁業体験プログラムなどの取り組みが行われている。特に「松浦党の里ほんなもん体験」では手軽なプログラムだけではなく、漁業者や農業者のしている作業をありのまま体験できる「ほんもの」体験となっている。

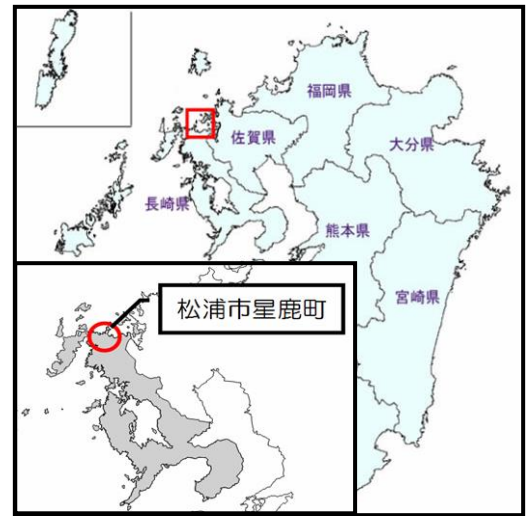


図1 松浦市星鹿町の位置

### 2. 漁業の概要

私が所属する新松浦漁業協同組合は、平成17年12月に鷹島阿翁、新星鹿、松浦、福島の4つの漁協が合併して誕生した。組合員数は正准合わせて758人、平成27年度の取扱数量は約3,384トン、取扱金額は約34億円となっている。漁協管内では、ごち網や小型底曳網、小型定置網、魚類養殖などが営まれている。私が従事している養殖業は、鷹島阿翁や新星鹿地区で盛んに行われており、漁協生産量の約42%が養殖業によるものである。トラフグ、マグロ、ブリ、マダイなど多種多様な養殖が営まれており、特に養殖トラフグは生産量日本一を誇り、全国の約17%を生産している（図2）。

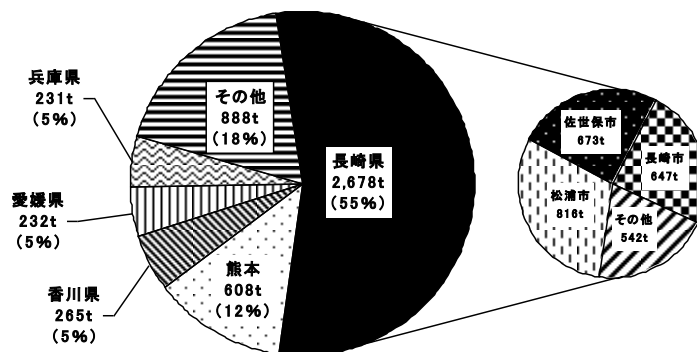


図2 全国トラフグ生産量（平成26年）

### 3. 研究グループの組織と運営

新松浦漁協青年部は、漁協合併に伴い、鷹島阿翁、殿の浦、福島、新星鹿の4地区の青年部が合併し誕生した。現在の部員は62人である。私が所属している新星鹿地区には14人の部員が所属しており、藻場保全のためのガンガゼ駆除や母藻設置、養殖業に被害を及ぼすサメ駆除、浜掃除、さらに、星鹿くんちなどの地元イベントを積極的に実施している。

### 4. 研究・実践活動の取組課題選定の動機

漁業を取り巻く環境は資材・餌料の高騰、魚価安、消費者の魚離れなど厳しい状況が続いている。また、新松浦漁協組合員の年齢構成は60歳以上の組合員が約70%を占めており、漁業の担い手確保については大きな課題となっている(図3)。

また、松浦市全体としても人口減少、少子高齢化が進んでいる。平成52年には高齢化率が40%を超えることが予測されており(図4)、地域の担い手不足は地域活力の維持という視点からも課題である。

このような中、平成22年から松浦市内の漁協青年部や農協青年部、商工会青年部などの若い担い手が集まり、各分野の担い手と花嫁の確保を目的とした婚活イベントを継続的に開催している。また、漁協青年部独自の取り組みとして将来の漁業の担い手候補である子供たちを対象に漁業体験および魚食普及活動を実施したので併せ報告する。

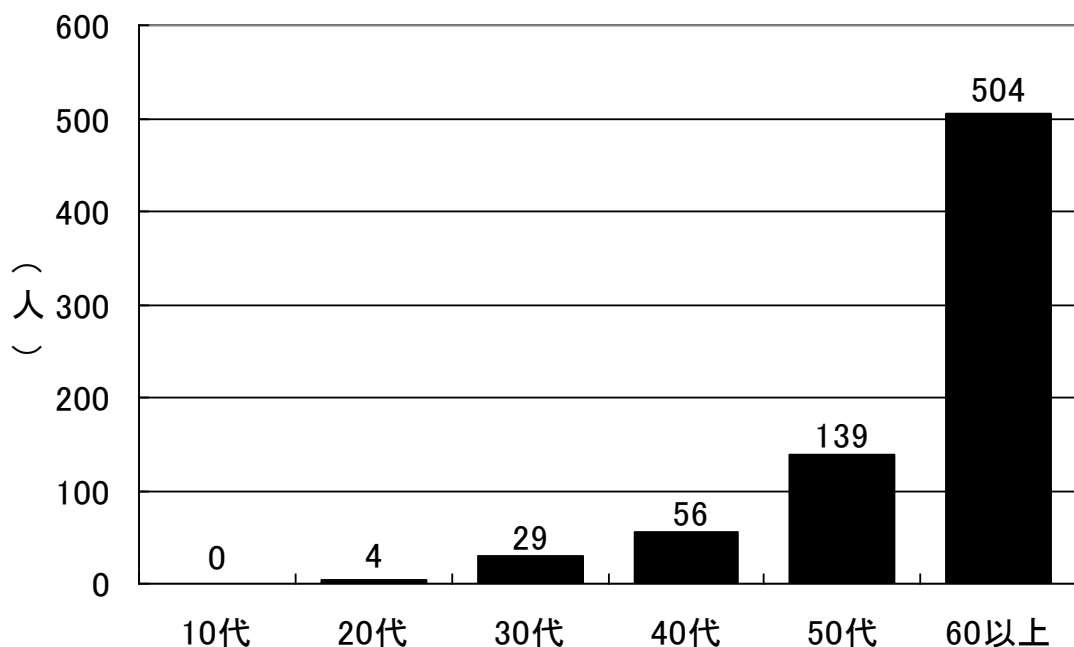


図3 新松浦漁協組合員の年齢構成

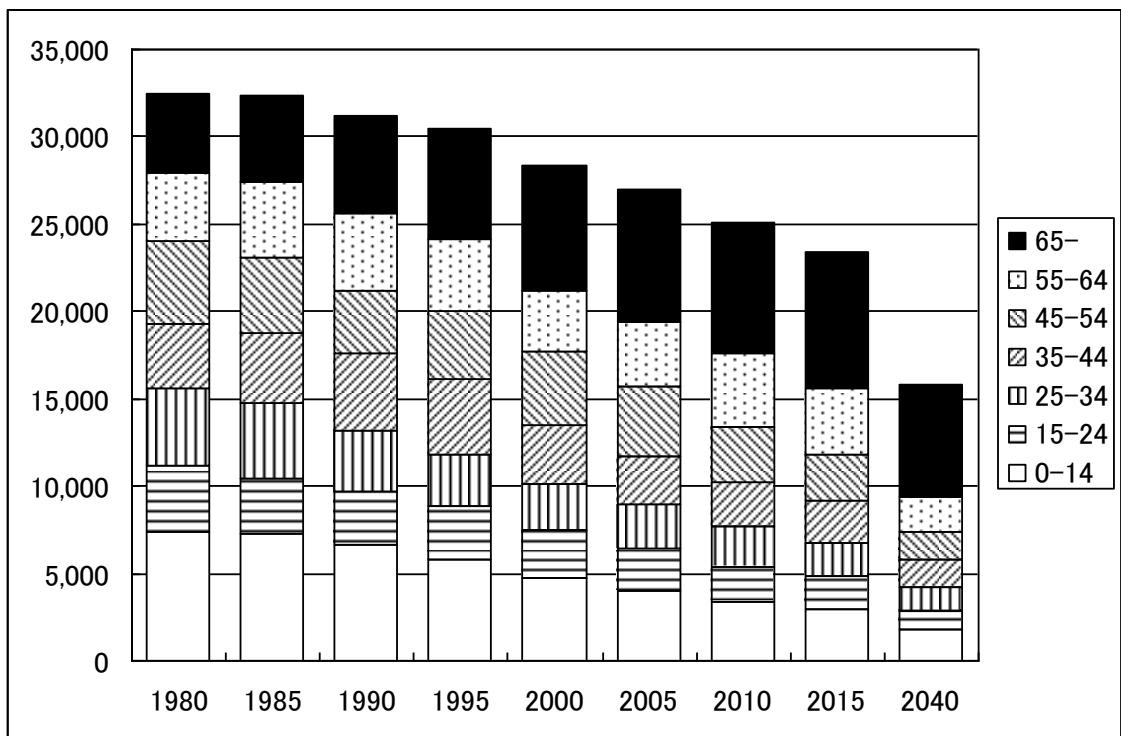


図4 松浦市の人口及び年齢構成

## 5. 研究・実践活動の状況及び成果

### 1) 婚活イベント

平成22年4月に松浦市内の漁協青年部・農協青年部・商工会青年部などの若い担い手が婚活の実行委員会「婚活 in まつうら実行委員会」を結成し、担い手と花嫁確保を目的に婚活の開催に向けて何度も協議を重ねてきた。

平成23年8月27日に「恋花 the summer with you」(図5)と題し婚活イベントを初開催。男性9人、女性6人の計15人が参加した。漁協青年部などの実行委員会はスタッフとしてイベントの開催運営にあたり、終始参加者のフォローに努めた。当イベントでは漁協青年部が操縦する漁船でクルージングを楽しみ、松浦の海で漁獲されたアジやサザエなどの海鮮バーベキューをしながら懇親を深めた。その結果、4組のカップルが成立するなど、上々の結果を出すことができた。

その後、1年に1～2回、定期的に婚活イベントを開催した。平成24年2月に

**イベント 第2弾 恋花 the summer with you**

日時：平成23年11月20日(日)

内容：クリスマスッキング&パーティー!

船に分かれてクッキングで作る料理はローストチキン

その他にサバイブニューでジップ＆ミラックルとサブゲームも待っています。

18:00からは作った料理を盛りおしゃべりなBARパーティーも楽しいゲームもありますのでお楽しみに!

場所：きらさら21

対象：20～45歳まで  
※ 自身の方(男性は松浦市内在住の方)

定員：男性12名 女性12名

参加費：男性4,000円 女性3,000円

高瀬クリスマス会  
パーティーと一緒に楽しめるよう  
スタッフ一同心を込めてお待ちしております!

伊豆里・佐田 順子より  
「返信が来ます!」

松浦市では、真摯に結婚心を込めて  
婚活のみなさまをサポートするべく、婚活支援部(婚活窓口)を  
設置しています。婚活相談や、イベント開催の受付も受け付けるので  
お気軽にご相談ください。イベント開催日のみは、婚活支援部  
が対応いたします。お申し込みは必ずお電話にてお申し込みください。

☆News☆  
婚活支援部、おめでとう!!  
4組のカップルが成立!

お問い合わせ先  
松浦市まつうら実行委員会事務局(松浦市松浦 定通づくり後援会内)  
住所：〒959-4568 松浦市定通4568番地  
TEL 0956-72-1111 (9時～31分)  
FAX 0956-72-1115  
E-MAIL: konohe@city.matsuyama.lg.jp

イベント各組  
H24.2に  
婚活イベントをします!

図5 「恋花 the summer with you」パンフレット

は「莓一会」と題し、行き先は事前に公表しないイチゴ狩りバスツアーを行うなど毎回趣向をこらした婚活イベントを実施している。

平 27 年 9 月には「海で恋を釣る!？」(図 6) と題したイカダ釣り体験を内容とした婚活を行った。男女混合班に分かれてイカダ釣り体験を行い、イカダ釣り後は新松浦漁協の養殖業者が生産しているマグロのさしみなどを昼食に食べた。私たち漁協青年部が実行委員会構成員の一員となっているメリットを存分に生かした水産色の濃い婚活イベントとなった。このイベントでは男性 15 人、女性 13 人の合計 28 人が参加し、2 組のカップルが誕生した。

平成 23 年度から現在に至るまで 15 回の婚活イベントを開催し、この婚活イベントを通じて 32 組のカップルが誕生、そのうち 6 組が結婚した(表 1)。

この取り組みを通して地域活性化を図るとともに、私たち漁業者の花嫁問題の解決に向けて大きな一歩を踏み出すことができたと考えている。婚活イベントには多くの問い合わせがあり、今後も引き続き取り組んでいく予定である。



図 6 「海で恋を釣る!？」パンフレット

表 1 婚活参加者及びカップル数、成婚数

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	合計
男性参加者	43	17	58	55	24	12	209
女性参加者	37	16	52	56	22	11	194
カップル数	14	5	2	4	3	4	32
うち成婚数	5	1	0	0	0	0	6

## 2) 漁業体験及び魚食普及活動

### ①きっかけ

私が住む星鹿地区にある星鹿小学校では約 20 年前まで毎年魚釣り大会が開催されていた。また、磯遊びなど自然を使った遊びは日常であった。しかし、海は危険なので近づかないようにという教えや家庭用ゲーム機などの普及に伴い、子供たちは自然から離れ、次第に魚釣り大会は開催されなくなっていった。子供たちに話を聞くと私たちの年代であれば誰もが経験した魚釣りや磯遊びの経験がない子供が多く、「アジのひらきが海の中を泳いでいる」と思っている子供もいるということが分かった。また、昔と比べて、家庭で魚を食べる機会が減っており、魚を丸体で購入して調理する家庭はあまりいないというのが現状である。

そのため、私たち漁協青年部では将来の漁業の担い手候補である子供たちに魚釣

りや磯遊びの楽しさを知ってもらうことで、将来、漁業に興味を持ち漁業の担い手となる子供たちも現れてくるのではないかと考え、「星鹿・海の学校」と銘打って魚釣り体験、磯遊び体験、魚料理教室を開催することとした。

「星鹿・海の学校」の開催にあたっては、PTAや漁協女性部の協力を仰いだ。打ち合わせの結果、小学校1～4年生の低学年の子供たちは船上での魚釣りが危険であることから磯遊び体験、5、6年生の子供たちは船上での魚釣り体験とし、加えて、子供たちとその保護者を対象に魚食の機会を増やしてもらうため、魚料理教室に参加してもらうこととした。

## ②「星鹿・海の学校」実施の流れ

平成28年9月22日に星鹿小学校1～6年生24人を対象として開催した。

磯遊び体験をする1から4年の低学年の子供たちには、まず、私たち青年部からガンガゼやヒョウモンダコなどの海の危険生物について説明を行い(図7)、潮間帯や砂浜などに住んでいる生物を捕獲した(図8)。



図7 危険生物の説明



図8 生物の捕獲

5、6年生の子供たちは青年部が操船する漁船に乗船し、魚釣り体験を行った(図9)。サビキ釣りでマアジ、アイゴ、マダイ、カサゴ、イトヨリなど多種多様な魚種を釣ることができた。



図9 魚釣りの説明及び体験風景

体験が終わった後、漁協女性部や子供たちの保護者が磯遊び体験で採捕したミナなどの貝を塩茹でに、魚釣り体験で採捕したさまざまな魚はフライ等に調理した。

女性部の方々には調理をしながら子供たちに包丁の握り方や魚のさばき方を指導していただいた（図10）。



図10 調理及び試食

### ③参加者からの反応

「星鹿・海の学校」に参加した子供たちは初めて魚釣りをした子供が多く、魚をさばいたことのある子供はほとんどいなかった。終了後のアンケートではまた魚釣り体験がしたい、家でも魚の調理がしたいといった意見が多く、来年も「星鹿・海の学校」に参加したいという声が聞けた（図11）。また、保護者からは最初は自分では魚などを触らず消極的だった子供が魚釣り体験を終えるころには自分で魚から釣り針を外すなど何でも積極的にするようになったことに感動したとのコメントもあった。今回、子供たちに魚釣りや磯遊びの楽しさを知ってもらう機会を提供することにより少しでも漁業への関心を持ってもらうことができ、将来の漁業の担い手確保につなげられたのではないかと感じている。また、今回の取り組みで漁業への関心、食への関心、生命への関心を持ってもらえたのは大変意義があるイベントとなったと考えている。



図11 講評及び終了後アンケート

## 6. 波及効果

### 1) 婚活イベント

私たち漁協青年部が実行委員の構成員となり開催している婚活イベントにより平成23年から現在に至るまで32組のカップルが誕生し、そのうち6組が結婚した。また、

結婚を機に松浦に転入した方も2人いる。さらに、結婚したご夫妻には子供も生まれたと聞いており、この婚活の取り組みは人口減少に対する効果的な対策になっていると感じている。

また、実行委員の構成員となることで漁業者間だけではなく、農業、商工業に従事している異業種の方々と知り合うことができ、婚活イベント開催時だけでなく、それ以外でも情報交換を行うことができるようになったのも重要な成果の1つであると感じている。今後は異業種の方々との連携によりさまざまな活動に取り組んでいけることと期待している。

## 2) 「星鹿・海の学校」

これまで私たち青年部と女性部、PTAの方々が連携してイベントを開催したことはなく、「星鹿・海の学校」で連携したことが初めての取り組みであり、青年部、女性部、PTAと地域内で連携を取れたことが最も大きな効果であると考えている。

また、「星鹿・海の学校」を開催することにより地域住民と私たち青年部との交流が深まり、今後は「星鹿・海の学校」に限らず積極的にさまざまな活動に取り組むことによりさらに交流を深めていきたいと感じている。

PTAから「星鹿・海の学校」を開催するにあたっての必要な準備は協力するので来年度も引き続き開催してほしいとの要望を受けているため、来年度は関係者間の連携をさらに深め「星鹿・海の学校」を今年度以上の内容と段取りで開催したい。

## 7. 今後の課題や計画と問題点

### 1) 婚活

婚活開催にあたっての課題は女性の参加者が少ないことである。女性は松浦市内、県内、県外問わず参加することができるが、なかなか集まらないというのが現状である。現在、チラシ、市報、無料情報誌、HP等で情報を流しているが、今後はFacebookやtwitterなどのSNSを利用して拡散することを考えている。また、私たち漁業者の中にも成立したカップルがあったが、結婚にいたった人がいない。原因のひとつとして漁業者の仕事の時間が不規則であり、一般の女性とプライベートの時間が合わないことが考えられる。そこで、漁業関係者に限らず、婚活後にも成立したカップルを対象としたイベントを行うなどアフターフォローをしていく必要があると感じている。

### 2) 「星鹿・海の学校」

体験を実施する場合に最も心配なのが天候である。本年度の実施したイベントの際にも直前に台風が通過し、開催が危ぶまれたが時化も収まりなんとか開催できたという状況だった。天候についてはどうしようもない部分もあるため、荒天時でも対応できるロープワーク講座やかまぼこ製作体験などの荒天時プログラムを組んでおく必要があると感じている。また、イベントの開催には女性部、PTAなど周囲の協力が必要なため引き続き連携していく。

婚活や「星鹿・海の学校」は後継者の確保を目的に実施しているが、すぐに成果が見えないため、地道に継続していく必要がある。そのなかで、女性や子供たちが漁業に興味を持ち、漁業者になりたい、漁業者の花嫁になりたいと1人でも言ってくれたら幸いである。今後も青年部、女性部、PTA、各業種間で連携・協力して、担い手対策に取り組んでいきたい。

